

校友会 史跡クラブ 行程表

日程 10月25日(金) ≪雨天決行≫
活動場所 護国寺～鳩山会館～肥後細川庭園～雑司ヶ谷鬼子母神
集合時間:場所 9時15分(時間厳守):東武東上線池袋駅南口改札前
費用概算 入館料、昼食代 ¥1,500(交通費別途)
行程概要(午前) 池袋 9:25 ～ 護国寺 9:29
(メトロ有楽町線)
護国寺参詣 ～ 鳩山会館見学
(昼食) 鳩山会館近くのレストラン予約済
(午後) 肥後細川庭園見学 ～ 早稲田 ～ 鬼子母神前
(都電荒川線)
雑司ヶ谷鬼子母神参拝
雑司ヶ谷 15:08 ～ 池袋 15:11 池袋にて解散
(メトロ副都心線)

※ 朝、池袋で乗る電車は和光市始発9:02の有楽町線です。池袋で集合せず電車に乗りっ放しで護国寺駅で降りたホーム合流もOKです。参加申込みの際に通知して下さい。小竹向原9:18

● 護国寺

真言宗豊山派大本山。天和元年(1681)5代将軍徳川綱吉の命により生母桂昌院の祈願寺として建立され、以後幕府の庇護を受け続けた。明治に入ると後ろ盾を失い、火災で堂宇を焼失し苦境に陥ったが、檀家総代を務めた実業家高橋義雄の努力により境内の整備が進められた。本堂は元禄10年(1697)に福島藩主堀田正虎の寄進により観音堂として建立され、国の重要文化財となっている。月光院も近江三井寺(園城寺)から移築されたものでこれも重要文化財に指定されている。墓地には多くの著名人の墓がある。松平治郷(不昧公)・三条実美・大隈重信・山縣有朋・山田顕義・団琢磨・ジョサイアコンドル・安田善次郎・梶原一騎・大山倍達・鳩山邦夫等々

● 鳩山会館

戦後の復興期に総理大臣を務めた鳩山一郎の私邸として、大正13年(1924)に建設され、平成8年(1996)に一郎の記念館としてオープンした。建物の設計は歌舞伎座等の設計で知られる岡田信一郎。当時(大正)としては珍しい鉄筋コンクリート造りのイギリス風の洋館で、庭園にはバラや四季の花々が咲き誇り、平和の象徴である鳩やミミズクの装飾等、鳩山家4代に亘る理念「友愛」精神が随所にみられるほか、一郎が首相当時重要な政治の舞台となった「応接室」や書斎・執務室等、大正～昭和にかけての激動期の政治の片鱗を垣間見ることが出来る。また会館は、映画やドラマで使用されることが多く、NHKの「花子とアン」やTBSの「花より男子」のロケも行われている。

● 雑司ヶ谷 鬼子母神

戦国時代の永禄4年(1561)雑司の職にあった柳下若狭守の家臣、山村丹右衛門が現在の目白台あたりで井戸から鬼子母神像を掘り出し、東陽坊に祀ったのが始めとされ、その後天正6年(1578)に「稻荷の森」と呼ばれていた現在の所に村人が堂宇を立てた記録がある。現在のお堂は寛文4年(1664)に、広島藩主浅野光晟の正室満姫の寄進で建立され、現在までに拡張されている。

鬼子母神は元々インドの夜叉神の娘で「カリ帝母」といったが、嫁いで子供を沢山生んだ。しかし性格粗暴で、近隣の子供を捉えては食べていた。お釈迦様がこれを憂い、帝母の末の子を一人隠してしまった。帝母は激しく嘆き悲しみ、やっと過ちを悟った。その後お釈迦様に帰依し、安産・子育ての神になることを誓い、人々の尊崇を集めるようになったと言われている。それゆえ雑司ヶ谷の鬼子母神は、鬼の字の角(ノ)のない字を使い、鬼子母神と表記している。

持ち物等 歩き易い靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ